

第9回 地域福祉フォーラム inTOYAMA プログラム

～一人ひとりの生活を支える多様な取り組みと役割～

日時：平成31年3月2日（土）9:30～16:50

場所：高岡文化ホール 多目的小ホール

※登壇者は予定であり変更になる場合があります

9:30～

あいさつ

シンポジウム①

9:35～10:45

先進事例から学ぶ

『 不登校など、支援の必要な子どもの未来を支える取り組み』
～学齢期・青年期に必要なこと、できること～

河内 崇典 氏（特定非営利活動法人み・らいず 代表理事）

コーディネーター

鈴木 直也 氏（特定非営利活動法人起業支援ネット 副代表理事）

シンポジウム②

10:55～12:05

『 改めてグループホームの質について考える 』

～安心して暮らせるすまいをつくるためのソフトとハード～

荒井 隆一 氏（日本グループホーム学会 副代表）

今井 正人 氏（積水ハウス 京滋奈シャームゾン支店 医療・介護推進担当）

助言者

山口 久美 氏（SNOWDREAM 代表）

コーディネーター

鷹西 恒 氏（富山福祉短期大学 教授）

昼食、休憩

12:05～13:05

講演

13:10～13:50

『 障害児（者）を支えるしくみづくりへの「思いと胆」』
～県職員時代を振り返って～

都竹 淳也 氏（飛騨市長）

シンポジウム③

14:00～15:20

『 地域で暮らす医療的ケアの必要な子を支えるしくみ 』
～医師の役割と思い～

牧本 優美 氏（富山大学附属病院 周産母子センター 講師）

三浦 太郎 氏（富山市まちなか診療所 管理者）

コーディネーター

田中 総一郎 氏（医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所ほっこり仙台 院長）

シンポジウム④

15:30～16:50

『 地域共生社会の実現にむけて 』

～私たちの地域で「我が事・丸ごと」の包括的支援体制を作るには～

都竹 淳也 氏（飛騨市長）

大村 政人 氏（富山県厚生部障害福祉課長）

吉澤 実 氏（高岡市福祉保健部長）

コーディネーター

戸枝 陽基 氏（社会福祉法人むそう 理事長）